

主な施策	事務 事業 番号	主要事務 事業名	事業概要	担 当 課	KPI (成果指標①)					KPI (成果指標②)					予算額 (千円)
					指標名	基 準 年 度	基 準 値	中 期 目 標	R8目 標値	指標名	基 準 年 度	基 準 値	中 期 目 標	R8目 標値	
ウォークラブルなまちづくり、快適なまちなか歩行空間の整備	5	「小倉・黒崎」エリアの価値向上事業	小倉・黒崎地区の将来像を広く周知し、官民で共有する。あわせて、まちの魅力を高める官民連携プロジェクトを実装・推進し、民間投資の呼び込みを通じて、エリアの価値向上を図る。	都市再生企画課	まちなかの居心地の良さを図る指標 (安心感・寛容性・安らぎ感・期待感)	R6	(小倉・黒崎の平均点) 安心感 4.7点 寛容性 5.0点 安らぎ感 4.0点 期待感 3.4点 (各8点満点)	—	4要素で8点満点中各6点以上	小倉・黒崎駅周辺1kmエリア内の民間建設投資額	—	—	—	R5~R8年度までの目標：合計600億円	73,460
持続可能な公共交通ネットワークの再構築	6	未来につなぐ公共交通リ・デザイン事業	公共交通の利便性、持続可能性、生産性向上を目指すため、公共交通のDXやバリアフリー化等により、誰もが利用しやすい環境づくりに取り組むとともに、持続可能な公共交通ネットワークの再構築に向けた検討を実施する。	都市交通政策課	市内の公共交通人口カバー率 (北九州市環境首都総合交通戦略：5年毎)	R3	86.0%	—	86.0%	公共交通に対する満足度 (行政評価市民アンケート：毎年度)	R3	66.0%	—	70.0%	17,279
	7	みんなで創る！公共交通「北九州モデル」推進事業	シニアをはじめとする交通弱者など、誰もが安心して移動できる公共交通の維持・確保を目指し、多様なお困りごとを把握し、新たな移動手段の確保に向けた検討や実証に加え、あらゆる世代への利用促進や啓発活動を進めていく、官民連携による北九州モデル(第2弾)を推進する。	都市交通政策課	市内の公共交通人口カバー率 (北九州市環境首都総合交通戦略：5年毎)	R3	86.0%	—	86.0%	公共交通に対する満足度 (行政評価市民アンケート：毎年度)	R3	66.0%	—	70.0%	10,000
戦略的な定住・移住施策の推進	8	移住推進関連事業	北九州市への移住を推進するため、若者・子育て世帯をメインターゲットとして、情報発信、相談窓口、お試し暮らし、移住支援金や住宅取得等費用の支援等により、移住の検討段階に応じた切れ目のない支援を行う。	住まい支援室	移住支援金や住宅取得等費用の補助を利用した転入者数	R5	630人	—	560人						147,400

主な施策	事務 番号	主要事務 事業名	事業概要	担 当 課	KPI (成果指標①)					KPI (成果指標②)					予算額 (千円)	
					指標名	基 準 年 度	基 準 値	中 期 目 標	R8目 標 値	指標名	基 準 年 度	基 準 値	中 期 目 標	R8目 標 値		
Ⅲ「安らぐまち」の実現																
持続可能な都市経営を目指したまちづくりの推進	9	まちなか居住 移転支援事業	持続可能な都市経営の実現に向け、災害から市民の生命・財産を守るとともに、まちなかの活力を維持増進するため、区域区分見直しによる市街化調整区域への編入区域等からまちなかへの移転支援を実施する。	都市 計画 課	土砂災害による危険からの回避	—	—	—	—	—	土砂災害による危険からの回避					21,185
	10	ミライの安心につなげる「住宅・建築物耐震化等安全推進事業」	市民の安全・安心な暮らしを促進するため、民間建築物について、耐震化や危険ブロック塀の除去、吹付アスベスト対策にかかる工事費等を支援するとともに、その普及啓発にかかる取組を行う。	建築 指導 課	住宅の耐震化率	R5	94.0%	R17年度までの目標：住宅の耐震化の完了(おおむね解消)	単年度目標設定なし							
利活用を含めた空き家対策	11	空き家対策事業	相談対応のDX化を行うとともに、空き家バンクの対象を拡充するなど、空き家・空き地対策の3つの柱である「発生予防啓発・管理促進」「活用促進」「管理不全の解消」を官民連携で取り組み、総合的な対策を推進する。	空き 家 活 用 推 進 課	住宅・土地統計調査におけるその他空き家数(住宅・土地統計調査：5年毎)	R5	27,600戸	R12年度までの目標：27,600戸	単年度目標設定なし							166,500
郊外部など公共交通の不便地域における交通・生活サービスの確保	12	地域の生活交通を確保する「おでかけ交通支援事業」	公共交通空白地域における地域住民の生活交通を確保するため、おでかけ交通を運行するタクシー事業者や車両の小型化により路線を維持するバス事業者への運行支援等を実施する。	都市 交通 政策 課	市内の公共交通人口カバー率(北九州市環境首都総合交通戦略：5年毎)	R3	86.0%	—	86.0%	公共交通に対する満足度(行政評価市民アンケート：毎年度)	R3	66.0%	—	70.0%	216,000	